

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	数学C	単位数	2単位 (1～3学期)	学年・学科・コース	3年・普通科・普通コース(文系)
使用教科書	高等学校 数学C(数研出版)		副教材等	チャート式 解法と演習 数学C(数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学的な表現の工夫について認識を深め, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学的な表現の工夫について認識を深め, 事象を数学化した, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し, 演算法則やその図形的な意味を考察する力, 図形や図形の構造に着目し, それらの性質を統一的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	総合演習 第1章 平面上のベクトル	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し, 成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。	○			具体的なベクトルを2つのベクトルで表すことができる。	授業態度 課題 定期考査
				○		点の座標とベクトルの成分の関係を, 座標平面上の図形の問題に活用できる。	
					○	様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。	
8 9 10 11	総合演習 第2章 空間のベクトル	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え, 空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また, それに関連して, 座標空間における点や図形について考察できるようにする。	○			平面上のベクトルについての種々の定義や性質などは, 空間においても同様に成り立つことを理解している	授業態度 課題 定期考査
				○		空間ベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察できる。	
					○	様々な空間図形の考察にベクトルを活用しようとする。	
12 1 2	総合演習 数学C	既習の知識を利用し, 問題を解くことができるようにする。	○			公式を用いて, 解答を導くことができる。	授業態度 課題
				○		問題の意味を捉え, 的確な方法で解答することができる。	
					○	様々な問題を興味・関心をもち, 考察しようとする。	